

「深刻化する雇用問題」にいかに対応しているのか

ローカルセンターの取り組み

1. 雇用失業情勢

2. 若年者の状況

- ・ 全国のフリーター数 170 万人
- ・ 全国のニート数 64 万人
- ・ 京都府のニート数 1 万 6 千人

3. 京都府の若年者就業支援

- ・ 若年者就業支援センター（ジョブカフェ京都）の概要
平成 15 年 8 月 「若年者就業支援センター」を設置
平成 16 年 3 月 無料職業紹介事業の開始
- ・ ジョブカフェ京都における実績

4. 総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」とは・・・

- ・ ジョブカフェ事業で培った支援ノウハウや企業とのネットワークを
女性、中高年齢者等へ活用

5. 京都ジョブパーク運営体制

- ・ 京都ジョブパーク推進協議会組織

6. 総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」の3つのコンセプト

- ・ 全国初！共同運営方式を採用
公労使（京都府、連合京都、京都経営者協会）を中心に、多数の関係
団体が加わった「地域で支える共同運営方式」で運営します。
- ・ 全国初！企業応援団を結成
セミナー・研修への講師の派遣や、職場実習の受け入れなど、京都の
企業が就業を目指す皆さんを応援します。
- ・ ハローワークとの連携によるワンストップ機能
まずは、総合相談窓口へ。専門のカウンセラーによる相談からハロー
ワークによる職業紹介までワンストップできめ細やかに支援します。

7. 「企業応援団」とは...

総合就業支援の拠点である「京都ジョブパーク」において、企業の人材確保だけでなく、京都の産業を活性化させ、地域社会の振興にもつながる「企業応援団」を結成し、京都ジョブパークを支える。

8. 「働きたい！」みなさんを支援します！

- ・ジョブカフェ事業で培った支援ノウハウや企業とのネットワークを女性、中高年齢者等へ活用
- ・京都ジョブパークの就業支援の流れ

9. 平成20年度「京都ジョブパーク」は更に機能を充実

- ・20年度の機能充実のポイント

①ハローワークコーナーに求人検索機を設置

京都労働局の全面的な協力を得て、ハローワークの求人情報をオンラインで検索できるシステム「求人検索機」(3台)を導入

②はあとふるジョブカフェの新設

障害のある人の総合的な就労を支援するため、「はあとふるジョブカフェ(障害者就労支援コーナー)」を設置

③利用者の利便性の向上

女性再就職支援コーナーや、ミドル・シニア コーナーを1ヶ所に集約し、来所者の皆さんが利用しやすい環境を整備

10. 京都ジョブパークの利用状況 (平成20年度)

- ・平成20年度の来所者数 (稼働293日間)
延来所者数 44,494人 (実来所者数 9,567人)
- ・全体利用者数 64,884人 (出張相談、出張セミナー等含む)
- ・1日平均来所者数 152人
うち、新規来所者数 33人
- ・就職内定者 3,358人 (3月31日現在) (⑩3,012人)

11. 若年者の就業支援

12. ジョブ・カードセンターとの連携

13. 「雇用と就労・自立支援カンパ」 トブ太カンパ